

せつめい文の 正しい説明をえらぼう

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 こん虫の あしを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こん虫の あしは 6本 あります。体は あたま・むね・はらの 3つに 分かれていて、あしは すべて むねについて います。ちょうも バッタも 同じです。

1 こん虫の あしは 6本で、むねについている。

2 こん虫の あしは 8本 ある。

3 あしは はらについている。

4 ちょうと バッタは あしの 数が ちがう。

2 こおりが とけるを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こおりは あたためると 水 になります。水をもっと あたためると、湯気 になって 空気の中へ 出ていきます。つめたくすると、また こおりに もどります。

1 こおりは あたためると 水 になる。

2 こおりは あたためると かたくなる。

3 水は ひやすと 湯気 になる。

4 こおりは 何をしても かわらない。

3 こうもりの くらしを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こうもりは 昼は くらい ところで ねむり、夜に とびまわって 虫を 食べます。目より 耳をつかって、まわりの ようすを知ります。

1 こうもりは 夜に かつどうする。

2 こうもりは 昼に とびまわる。

3 こうもりは 草を 食べる。

4 こうもりは 目だけで まわりを知る。

4 カエルの 育ち方を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

カエルは たまごから おたまじゃくしに なります。はじめは しっぽが あって 水の中 で くらしますが、やがて 足が出て しっぽが 消え、りくにも 上 げられる カエルに なります。

1 カエルは おたまじゃくしから すがたを かえる。

2 カエルは たまごを うまない。

3 おたまじゃくしには 足が ある。

4 カエルは 水の中 でしか いきられない。

せつめい文の 正しい説明をえらぼう【こたえ】

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：1

本文に『あしは6本・すべてむねにつく』とあります。

2 答え：1

『こおりはあたためると水になる』が本文の内ようです。

3 答え：1

『夜にとびまわる』が本文の内ようです。

4 答え：1

おたまじゃくし→カエルと『すがたをかえる』が要点です。

読み取るコツ

だいじな 一文（まとめの 文）を さがし、言いかえの 説明を えらびます。